

2026年度 能登演劇堂WS 講師紹介

1 演技演出 A-1 仙石 桂子 先生

講師は、四国学院大学社会学部の仙石桂子(せんごく けいこ)教授です。仙石先生は、演劇教育や即興演劇(インプロ)を専門とする演出家・劇作家で、学生への指導に加え、福祉施設との連携や歴史の記憶をテーマにした市民演劇・舞台制作に積極的に取り組んでいます。



主なプロフィール・実績

所属・役職：四国学院大学 社会学部 カルチュラル・マネジメント学科 教授

専門分野：演劇教育、即興演劇(インプロビゼーション)

演劇活動：身体表現や舞台芸術を指導し、自身も劇団を率いて脚本・演出を手掛けています。また、福祉や社会課題との連携：演劇の手法を用いて福祉と掛け合わせたプログラムや、シベリア抑留など戦争の記憶を次世代へつなぐ学生参加型の演劇プロジェクトを実現しています。

2 演技演出 A-2 山口 英峰 先生

講師は日本大学芸術学部演劇学科の山口 英峰(やまぐち えいほう)教授です。舞台監督やプロダクションマネジメントを専門とし、劇場管理運営や文化政策の研究を行っています。



主なプロフィールや実績

所属・役職：日本大学 芸術学部 演劇学科 教授

専門分野：劇場管理運営、プロダクションマネジメント、舞台芸術の制作

演劇活動：2002年よりフリーランスの舞台スタッフとして活動を開始。2014年より文化庁新進芸術家海外研修員としてカナダ(ケベック州)に1年滞在。国内外の数多くの舞台作品・ダンス公演等に舞台監督やプロダクションマネージャーとして参加。近年の主な参加作品：パリ・オペラ座「PLAY」日本公演(2025年) ろう者と聴者が遭遇する舞台「黙るな動け呼吸しろ」(2025年)

3 舞台照明 後藤 誠司 先生

講師は、岐阜県立岐阜各務野高等学校演劇部顧問の後藤誠司(ごとう せいじ)先生です。

岐阜県の高校演劇において、舞台美術・舞台演出に関する豊富な知識と経験を持ち、数多くの作品制作に携わってきました。特に、舞台照明における光と影のコントロールに優れ、場面の空気感や登場人物の感情を繊細に描き出す照明演出には定評があります。観客の視線や心理を導きながら、作品世界をより印象的に立ち上げる舞台づくりを行っています。

高校演劇の現場で培われた実践的な視点から、舞台づくりの魅力や照明・美術の可能性について学びます。

主な高校演劇での作品：「あゆみ」「アニータ・ローベルの『じゃがいもかあさん』」「赤鬼」など